

令和7年度

講座案内

フレアキャンパス講座情報

受講無料



託児の申込は講座の2日前(休館日を除く)までに
直接こども室へ電話してください
対象:1歳から就学前までのお子様
こども室 088-655-4638

パーク テレコメディア (6月から愛称を変更しました)

(徳島県立男女共同参画総合支援センター)

〒770-8055 徳島市山城町東浜傍1-1(アスティとくしま2階)

TEL: 088-655-3911 ファクシミリ: 088-626-6189

E-mail: flairtokushima@mf.pikara.ne.jp

URL: https://www.pref.tokushima.lg.jp/flair

開館時間: 10:00~18:00

休館日: 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)

年末・年始休



パーク テレコメディア情報

☆ 講座の申込方法 ☆

電話、ファクシミリ、E-mailのいずれかで、パークテレコメディアへお申し込みください。
なお、各欄に申込先等がある講座は、そちらに直接ご連絡ください。

☆講座に変更がある場合には、決定次第パーク テレコメディアHPに掲載いたします。

1月8日(木) 10:30~12:00 ◇申込不要	(共催) 大人と絵本 ~心の基礎体力をつけましょう~ 女性グループ・すいーぷ ●場所: 学習室(アスティとくしま 2階) ●対象: 大人 ◎問合せ先: 女性グループ・すいーぷ 電話: 088-631-5731 080-2995-1639(山橋)	
1月10日(土) 13:30~15:30 ◇申込不要	(共催) フレアシネマ劇場 徳島県女性協議会 第1部: 徳島県女性協議会からのお知らせ 研修「アンコンシャスバイアス(無意識の思い込みや偏見)について考える」 第2部: 映画上映「女たちの都」日本語字幕なし *館内にヒアリンググループを設置しています ●場所: テレコメディア ホール(アスティとくしま 2階) ●対象: 一般 ●定員: 100名	
1月15日(木) 10:00~12:00 ◆要申込	(共催) ほのぼの子育て お話スペース フレア なかみちの会 ●場所: 学習室(アスティとくしま 2階) ●対象: 育児中の方、または育児に関心のある方 ●定員: 20名程度 ●参加費: 200円(資料代) ◎申込み・問合せ先: なかみちの会 電話: 090-4330-1336 E-mail: adlertokushimamama3@gmail.com(細川)	
1月18日(日) 13:00~16:00 ◇申込不要	(推進) 徳島あいの会(わかちあいの会) ~大切な人を自死で亡くした家族同士が語り合う場~ ●場所: 第5会議室(アスティとくしま 2階) ●対象: ご家族を自死で亡くされた方 ◎問合せ先: 徳島県精神保健福祉センター 電話: 088-602-8911	
1月24日(土) 13:30~15:00 ◆要申込	清水 健(フリーアナウンサー)さん講演会 ~大切な人の思いとともに今できること~ ●場所: テレコメディア ホール(アスティとくしま 2階) ●参加費無料 ●定員: 142名 ●申込方法: 申込フォーム・郵便・FAX・E-mailのいずれか ◎申込先: 徳島県立人権教育啓発推進センター(あいぽーと徳島) TEL: 088-664-3719 FAX: 088-664-3727 E-mail: info@aiport.jp	 [申込フォーム]
1月25日(日) 13:30~15:30 ◆要申込	ジェンダーカフェ講座 もっと自由になれるかも ~あなたの生きづらさ一緒に考えます~ 講師: ウイメンズカウンセリング徳島代表 河野 和代さん ●場所: 学習室(アスティとくしま 2階) ●対象: どなたでも ●定員: 20名程度	
1月31日(土) 13:00~16:00 ◆要申込	(企画委託) 男女格差社会を考える ~映画鑑賞とパネルディスカッション~ 13:00~15:00 映画上映「Barbie(バービー)」 15:10~16:00 パネルディスカッション「男女格差社会を考える」 コーディネーター: 上地大三郎弁護士 パネリスト: 藤崎寛子さん・青木浩次さん ●場所: テレコメディアホール(アスティとくしま 2階) ●定員: 50名 ●参加費: 無料 ◎問合せ・申し込み: 女性と子どもの人権を守るエンゼルランプ TEL 088-626-9826 FAX: 088-626-9827 E-mail: seonoriko26@gmail.com	
1月31日(土) 14:00~16:00 ◆要申込	(企画委託) 「女性のキャリアアップや復職・再就職に対する支援」 履歴書完成ワークショップ「私の強み」をカタチにする2時間! 1部 14:00~14:40 履歴書作成のポイントを知ろう!! 2部 14:40~16:00 実際に履歴書を作成してみよう!! 講師: 石原 雅子 理事 ●場所: パーク テレコメディア 第5会議室(アスティとくしま 2階) ●定員: 28名(先着順・予約制) ◎問合せ・申し込み: 徳島県キャリアコンサルタント協会(福山・山野) FAX: 088-655-8012 E-mail: tokushima.careerconsultant@gmail.com	

フレア相談室 (令和7年6月より名称を変更しています)

☆電話相談☆ 月・水・木・金・土 10:00~12:00・13:00~17:00

☆面接相談(予約制)☆

女性対象 毎月第3・4木曜日 10:00~12:00・13:00~16:00 (1人50分程度)

男性対象 毎月第3金曜日 15:00~17:00 (1人50分程度)

☆法律相談(予約制)☆

女性対象 毎月第2木曜日 13:00~16:00 (原則1人30分)

男性対象 毎月第2金曜日 13:00~16:00 (原則1人30分)

☆創業相談(予約制)☆

毎月第2・4水曜日 10:00~12:00・13:00~16:00 (1人50分程度)

☆子育て相談(予約制・未就学児に関するもの)☆ 直通電話 088-655-4641

電話: 日・月・水・木・金・土 11:00~12:00・13:00~16:00

面談: 日・月・水 11:00~12:00・13:00~16:00

* いずれの相談も休館日は休み。令和7年6月より男性のための法律相談を開始しています。



電話 088-626-6188

☆面拍・法律・創業・子育て相談は
必ず電話での予約をお願いします。



「男らしく、女らしく」にとらわれなくて、 「誰でも、どこでも、自分らしく」

令和7年度の内閣府「男女共同参画週間」キャッチフレーズとして、“誰でも、どこでも、自分らしく”が最優秀賞に選ばれました。

発言を控え、男性を立てて目立たないようにすることが「女らしい」という認識が、いまだに残っています。また、女性初の総理大臣が誕生しましたが、政治・経済の重大な政策を決定するような場では女性は圧倒的少数です。例外として幅広く活躍する一握りの女性はいても、それが「例外」と言われる限り、女性の立場に変化はありません。

男性もまた決めつけられた「男らしさ」に苦しめられ、「男らしくない」からと我慢したり諦めたりする事例は数え切れないのではないのでしょうか。

このようなアンコンシャスバイアスによる、自分で自分の首を絞めているような状態から抜け出し、本当の「自分らしさ」を発揮できるよう行動に移してみませんか。

「性別役割に対する考え」（内閣府：令和3年度 性別による無意識の思い込みに関する調査結果より）

男性 上位10項目	回答者数：5069	%	女性 上位10項目	回答者数：5165	%
1 女性には女性らしい感性があるものだ		51.6	1 女性には女性らしい感性があるものだ		47.7
2 男性は仕事をして家計を支えるべきだ		50.3	2 男性は仕事をして家計を支えるべきだ		47.1
3 デートや食事のお金は男性が負担すべきだ		37.3	3 女性には感情的になりやすい		36.6
4 女性は感情的になりやすい		35.6	4 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきではない		30.7
5 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきではない		31.8	5 共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ		23.8
6 男性は人前で泣くべきではない		31.0	6 共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病すべきだ		23.2
7 男性は結婚して家庭を持って一人前だ		30.3	7 家事・育児は女性がするべきだ		22.9
8 共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ		29.8	8 組織のリーダーは男性の方が向いている		22.4
9 家事・育児は女性がするべきだ		29.5	9 大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい		22.4
10 家を継ぐのは男性であるべきだ		26.0	10 デートや食事のお金は男性が負担すべきだ		22.1

それを誰から感じさせられた？

性別役割を言ったり、言動を感じさせた人	
男性	女性
1 父親	1 職場の上司
2 知人・友人	2 配偶者・パートナー
3 職場の上司	3 父親
4 母親	

男ならがんばれ

男は泣かない

男なら稼げ

男がお金を払うべきだ

・男だから弱音を吐くななどと言われて育った男性は、つらくても誰にも相談できずに苦しんでいるケースもある。
・ひきこもりや自殺、過労死は女性に比べて男性の方が圧倒的に多い。

女らしくしなさい

家事・育児は女がするもの

看護は女がするべき

リーダーに向いていない

○性別役割や思い込みについて、感じさせた人として、「父親」や「母親」が多いという結果でした。
今後は、家庭の中でジェンダーにしばられない子育てを心がけたいですね。

「有害な男らしさ」とは、伝統的な男性像の中に含まれる、女性蔑視や感情抑制、暴力性などの問題点を指す概念であり、男性自身の心身面にも悪影響を与えかねません。

家庭教育が重要！

「有害な男らしさ」にしばられない男性に育てるためには？

例えば...

○男であることを理由に、我慢させたり、無理にやらせたりせず、子どもの興味や好みを尊重し、自由に成長させましょう。



○男だからと感情を抑えさせることなく、喜怒哀楽を共有できる環境を作りましょう。

○乱暴な振る舞いをしたら、きちんと叱りましょう。

○テレビなどで性差別や暴力に関する場面を見たら、いけないことだと説明しましょう。

○父親も母親も、家事や育児を共同で行うことで、男らしさや女らしさに囚われず、平等なパートナーシップを築きましょう。

○良いモデルとなる男性の存在を示すことで、子どもたちにポジティブな男性像を伝えましょう。 など



講演会の案内

演題：「女らしさ、男らしさ」にとらわれない子育て

～子どもたちが自分らしく生きるために～

令和8年2月21日(土)

13:30～15:00

場所：テレコメディア ホール
(アスティとくしま2階)

講師：弁護士 太田啓子さん
(10代の息子さん2人を子育て中)

○著書

・「これからの男の子たちへ『男らしさ』から自由になるためのレッスン」(大月書店)
・「いばらの道の男の子たちへ」(共著 光文社)他

